第5章 その他

パソコンへのファイル転送

記録したファイルをパソコンでご使用になるときは、本機対応のパソコン接続キット（Win/Mac 用）（PK-7〈別売り〉）が必要です。

重要
・操作方法については、本機に対応のパソコン接続キット（Win/Mac 用）（PK-7〈別売り〉）に付属の使用説明書をご覧ください。

■準備するもの

項目	型名	備考
パソコン接続キット（Win/Mac用）	PK-7	本機に対応した専用のソフトウェアです。 ●同梱内容 ・Windows/MacintoshソフトウェアCD-ROM ・RS232Cケー　ブル ・Macintosh変換アダプター ・USBケーブル （Windows98プレインストール/MacOS8.5～9対応）

■動作環境

● Windows をお使いの方

・基本ソフトウェア　：Microsoft®Windows®95/98/ NT4.0/2000（日本語版）
・パソコン本体　　　：上記の基本ソフトウェアが動作するパソコン
・CPU　　　　　　　：Pentium 以上
・メモリ　　　　　　：Windows95 の場合；16MB 以上（推奨 32MB 以上）
　　　　　　　　　　：Windows98 の場合；32MB 以上（推奨 96MB 以上）
　　　　　　　　　　：Windows2000 の場合；64MB 以上（推奨 96MB 以上）
　　　　　　　　　　：WindowsNT4.0 の場合；32MB 以上（推奨 96MB 以上）
　　　　　　　　　　※非圧縮ファイルや動画など大きなデータ量のファイルを扱う場合は大きなメモリ環境でのご使用をおすすめします。
・インストール時のハードディスクの空き容量
　　　　　　　　　　：6MB 以上
・ディスプレイ解像度：640 × 480 ドット以上（推奨 800 × 600 ドット以上）
・表示色　　　　　　：256 色以上（推奨 65,000 色以上）
・キーボード、マウス：Windows95/98/2000/ NT4.0 に対応した、本体に接続可能なキーボードおよびマウスに準じたポインティングデバイス
・CD-ROM ドライブ　：Windows95/98/2000/NT4.0 で使用可能な CD-ROM ドライブ、またはこれらに準拠したデバイス

補足
・WindowsNT3.51 では動作しません。
・Windows3.1 では動作しません。

● Macintoshをお使いの方

・Macintosh本体　：ノート型またはデスクトップ型のPowerPC搭載のMacintosh
・CPU　：PowerPC
・OS　：MacOS8.1～MacOS9
・内蔵メモリ　：24MB以上
・必要メモリ　：圧縮ユーティリティーを使用せずに、アプリケーションメモリとして16MB以上（推奨32MB以上）
・インストール時のハードディスクの空き容量　：6MB以上
・ディスプレイ解像度　：640×480ドット以上（推奨800×600ドット以上）
・表示色　：256色以上（推奨65,536色以上）
・キーボード、マウス　：ご使用のMacintosh対応の、接続可能なキーボードおよびマウスに準じたポインティングデバイス
・CD-ROMドライブ　：ご使用のMacintosh本体で使用可能なCD-ROMドライブ
・QuickTime　：QuickTime4.0以上

■パソコン上でのファイル削除についてのご注意

Windows95/98/2000/NT4.0をご使用のとき、スマートメディア内のファイルをパソコン上で削除、またはごみ箱を空にしても削除できない場合があります。
このようなときは、［ごみ箱のプロパティ］ダイアログの［オプション］タブから「ドライブごとに構成する」ボタンを選択し、次にスマートメディアが挿入されているドライブのタブから「ごみ箱にファイルを移動しないで、削除と同時にファイルを消す」ボックスをチェックしてからファイルを削除してください。

重要
・［オプション］タブの「全ドライブで同じ設定を使う」ボタンを選択すると、他のドライブ（ハードディスクやフロッピーディスクなど）にあるファイルも、いったん削除するとすぐにファイルが消えてしまうので元に戻せなくなります。十分にご注意ください。

補足
・削除したいファイルを選択し、［Shift］キーと［delete］キーを同時に押すか、［Shift］キーを押しながらファイルをごみ箱へドラッグ＆ドロップしても削除することができます。

■スマートメディアのフォルダ名について

フォルダ名は、数字３文字+英数字５文字で構成されています。フォルダ名を変更した場合は、カメラで再生できなくなることがあります。

カメラの設定を変更・確認する

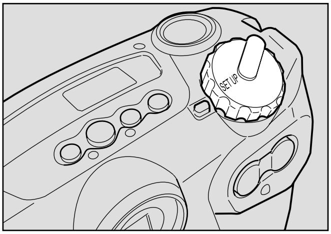
このカメラでは、使いかたに合わせて「ブザー音」、「オートパワーオフ」、「LANGUAGE」、「ビデオ方式」、「モード保持」などの各設定を変更、確認できます。

ブザー音の設定を変更する

このカメラでは、記録時に「ピッ」という確認のためのブザー音が鳴ります。ブザー音が鳴らないようにしてお使いになるときは、次のように操作します。

❶ モードダイヤルを［SETUP］に合わせます。

SET UP メニューが表示されます。



補足 ・操作を取り消すときは、モードダイヤルを回します。

❷ ▼ボタンや▲ボタンを押して［ブザー音］を選びます。



❸ ENTER ボタンを押して、［OFF］を選びます。

ブザー音が鳴らなくなります。
設定が終了したら、モードダイヤルを回して他のモードに切り替えます。



補足 ・ブザー設定を［OFF］にしても、「ピピピピピッ」というエラーのためのブザー音は消音されません。

設定を戻すとき

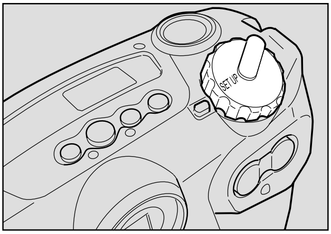
同様の操作を行い、手順❸のブザー音で［ON］を選びます。ブザー音が鳴るようになります。

オートパワーオフの設定を変更する

記録モードや再生モードのとき、設定された時間カメラの操作（ボタンやスイッチの操作）をしないと、節電のためにオートパワーオフが働きます。オートパワーオフの設定を変更してお使いになるときは、次のように操作します。

❶ モードダイヤルを［SETUP］に合わせます。

SET UPメニューが表示されます。



補足 ・操作を取り消すときは、モードダイヤルを回します。

❷ ▼ボタンや▲ボタンを押して［オートパワーオフ］を選びます。



❸ ENTERボタンを押して、設定時間（1分・3分・5分・OFF）を選びます。

設定が終了したら、モードダイヤルを回して他のモードに切り替えます。



補足 ・オートパワーオフが働かないようにしてお使いになるときは、［OFF］を選びます。

設定を戻すとき

同様の操作を行い、手順❸のオートパワーオフで設定時間を変更します。

補足 ・オートパワーオフが働いて電源が切れたときは、電源スイッチを2度押して電源を再投入してください。
・オートパワーオフを設定しても、ACアダプター（別売り）を使用しているときは、オートパワーオフは働きません（インターバル撮影は除く）。

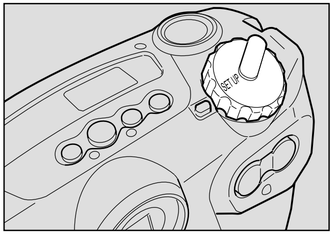
カメラの設定内容を記憶する

モード保持は、電源を切ったときでも、カメラの設定内容をそのまま保持しておくための機能です。各設定内容を記憶し、次回電源を入れたときもその設定内容が保持されています。次の設定内容を保持できます。

・フラッシュ（P.52）　・露出補正（P.55）　・ホワイトバランス（P.57）
・記録モード（P.42）　・日付入れ撮影（P.63）　・LANGUAGE（P.104）
・カード / 内蔵（P.40）　・Ｓモード（P.69）　・フォーカス（P.61）
・ソフトモード（P.68）・オートブラケット（P.70）

❶ モードダイヤルを［SETUP］に合わせます。

SET UP メニューが表示されます。



補足 ・操作を取り消すときは、モードダイヤルを回します。

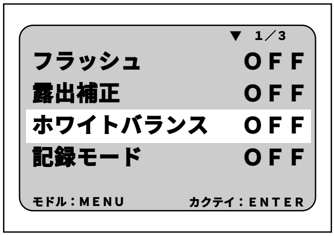
❷ ▼ボタンや▲ボタンを押して［モード保持設定］を選び、ENTER ボタンを押します。

設定メニューが表示されます。



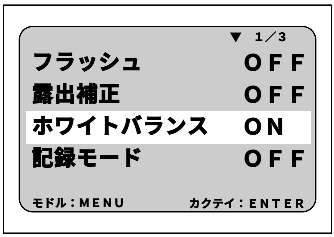
補足 ・操作を取り消すときは、MENU ボタンを押します。SET UPメニューに戻ります。

❸ ▼ボタンや▲ボタンを押して、モード保持を設定する項目を選びます。



❹ ENTER ボタンを押して、［ON］を選びます。

モード保持が設定されます。続けて他の項目も設定するときは、手順❸・❹を繰り返します。



モード保持を設定した項目の内容は、電源を切っても保持されます。

❺ **設定を確認後、MENUボタンを押します。**

SET UPメニューに戻ります。モードダイヤルを回して他のモードに切り替えます。

設定を戻すとき

同様の操作を行い、手順❹で［OFF］を選びます。電源を切ると、設定内容が戻ります。

内蔵メモリーのフォーマット

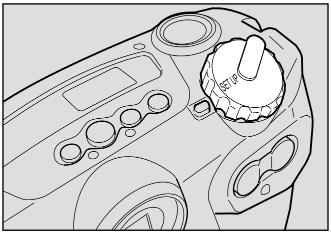
内蔵メモリーをフォーマット（初期化）します。

重要

・内蔵メモリーをフォーマットすると、内蔵メモリー内に記憶されているすべてのファイルが消去されます（プロテクトやシークレットが設定されたファイルも消去されます）。必要なファイルは、スマートメディアにコピーしてから内蔵メモリーをフォーマットしてください。→P.83「ファイルをコピーする」

❶ **モードダイヤルを［SETUP］に合わせます。**

SET UPメニューが表示されます。



補足 ・操作を取り消すときは、モードダイヤルを回します。

❷ **▼ボタンや▲ボタンを押して［フォーマット］を選び、ENTERボタンを押します。**

設定メニューが表示されます。



補足 ・操作を取り消すときは、MENUボタンを押します。SET UPメニューに戻ります。

❸ **▼ボタンや▲ボタンを押して［内蔵メモリー］を選び、ENTERボタンを押します。**



❹ **レリーズ（シャッター）ボタンを押します。**
「フォーマット中」とメッセージが表示され、内蔵メモリーがフォーマットされます。

フォーマットが終了すると、SET UPメニューに戻ります。モードダイヤルを回して他のモードに切り替えます。

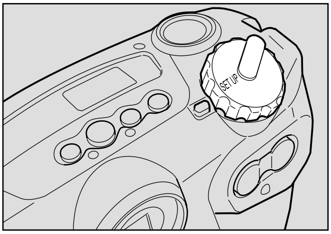


表示言語を変更する

液晶モニターに表示される情報を、日本語表示または他の言語に切り替えて利用できます。

❶ **モードダイヤルを［SETUP］に合わせます。**
SET UPメニューが表示されます。

補足 ・操作を取り消すときは、モードダイヤルを回します。

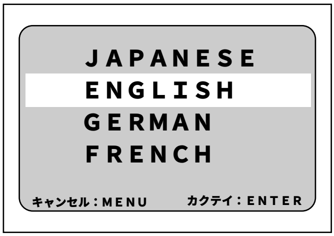


❷ **▼ボタンや▲ボタンを押して［LANGUAGE］を選び、ENTERボタンを押します。**

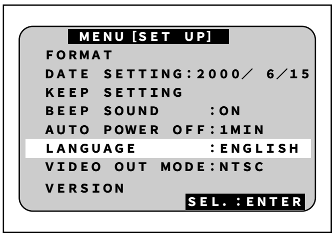
補足 ・操作を取り消すときは、MENUボタンを押します。SET UPメニューに戻ります。



❸ **▼ボタンや▲ボタンを押して表示する言語を選び、ENTERボタンを押します。**
表示言語が変更され、SET UPメニューに戻ります。
設定が終了したら、モードダイヤルを回して他のモードに切り替えます。



●日本語表示に戻すとき
SET UPメニューの上から６段目（全言語共通）の［LANGUAGE］を選び、ENTERボタンを押します。設定メニューの最上段で言語（例：英語のときは［JAPANESE］）を選ぶと日本語表示に戻ります。



設定を戻すとき

同様の操作を行い、手順❸で他の言語を選びます。液晶モニターの表示が変わります。

補足 ・言語設定の変更内容を保持するときは、モード保持を設定してください。→ P.102「カメラの設定内容を記憶する」

ビデオ方式を変更する

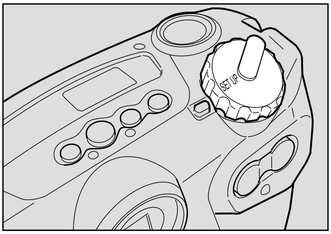
海外旅行などで撮影したファイルをテレビで再生するとき、テレビ方式が日本のテレビ方式（NTSC 方式）と異なることがあります。このようなときにビデオ方式を切り替えて使用します。

参照 ・接続のしかた→ P.75「テレビに接続する」
・テレビ方式について→ P.123「海外旅行にお持ちになる方へ」

❶ モードダイヤルを［SETUP］に合わせます。

SET UP メニューが表示されます。

補足 ・操作を取り消すときは、モードダイヤルを回します。



❷ ▼ボタンや▲ボタンを押して［ビデオ方式］を選びます。



❸ ENTER ボタンを押して、［NTSC］または［PAL］を選びます。

ビデオ方式が変更されます。

設定が終了したら、モードダイヤルを回して他のモードに切り替えます。



設定を戻すとき

同様の操作を行い、手順❸で他のビデオ方式を選びます。

補足
・PALに設定したときは、ビデオプリンターなどのモニターとしてご使用になれません。
・PAL 方式に設定してビデオ接続ケーブルを接続したときは、液晶モニターには画面表示されません。

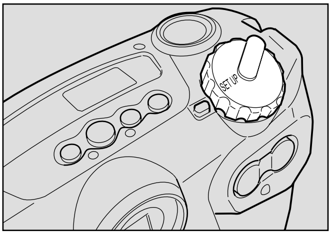
画像確認時間を変更する

静止画や文字の撮影では、シャッターボタンを押した後、撮影画像を液晶モニターに表示することができます。この撮影後の画像確認の時間を、０秒、１秒、２秒、３秒から選択できます。

❶ モードダイヤルを［SETUP］に合わせます。

SET UP メニューが表示されます。

補足
・操作を取り消すときは、モードダイヤルを回します。



❷ ▼ボタンや▲ボタンを押して［画像確認時間］を選びます。



❸ ENTER ボタンを押して、画像確認時間（０秒・１秒・２秒・３秒）を選びます。

設定が終了したら、モードダイヤルを回して他のモードに切り替えます。

補足
・画像確認時間が０秒のときは、撮影画像は表示されません。撮影後、すぐに記録されます。



設定を戻すとき

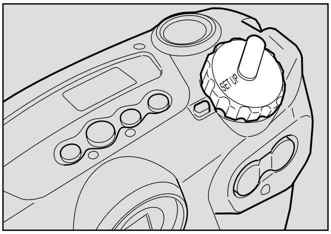
同様の操作を行い、手順❸の画像確認時間で［０秒］を選びます。

液晶モニターの画面表示を変更する

記録モードでは、電源を入れると同時に液晶モニターが画面表示されます。液晶モニターを利用しない場合は、電源投入時に画面表示されないよう設定することができます。電池の消耗を防ぐことができます。

❶ モードダイヤルを［SETUP］に合わせます。

SET UP メニューが表示されます。



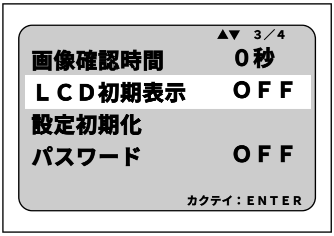
補足 ・操作を取り消すときは、モードダイヤルを回します。

❷ ▼ボタンや▲ボタンを押して［LCD初期表示］を選びます。



❸ ENTERボタンを押して、［OFF］を選びます。

記録モード時、電源を入れたときに液晶モニターは画面表示されなくなります。DISPLAYボタンを押して、画面表示を切り替えてください。→ P.39「●液晶モニターの表示について」



設定が終了したら、モードダイヤルを回して他のモードに切り替えます。

設定を戻すとき

同様の操作を行い、手順❸のLCD初期表示で［ON］を選びます。

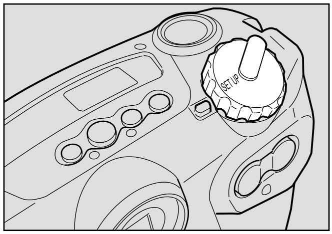
設定内容を初期状態に戻す

日付とパスワードを除いたすべての設定内容をリセットします。

重要
・モード保持設定で設定した内容も、初期状態に戻ります。

❶ モードダイヤルを［SETUP］に合わせます。

SET UP メニューが表示されます。



補足 ・操作を取り消すときは、モードダイヤルを回します。

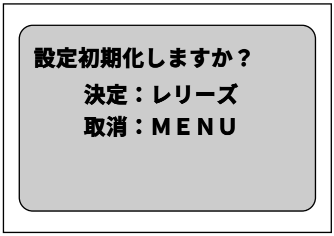
❷ ▼ボタンや▲ボタンを押して［設定初期化］を選び、ENTERボタンを押します。



補足 ・操作を取り消すときは、MENU ボタンを押します。SET UP メニューに戻ります。

❸ レリーズ（シャッター）ボタンを押します。

設定内容が初期状態になります。
初期状態に戻しても、記録されているファイルは消えません。



設定初期化が終了すると、SET UP メニューに戻ります。モードダイヤルを回して他のモードに切り替えます。

ファイル名の設定方法を変更する

記録先がスマートメディアの場合、撮影時に自動的に付けられるファイル名を連番にするかどうか設定できます。

●連続 No. が ON のとき

ファイルには、R0010001 ～ R9999999 のファイル名が付きます。

カメラは、最後に割り当てたファイル名を記憶しているため、新しいスマートメディアをセットしても、次に撮影した画像には続きの番号を割り当てます。

ただし、スマートメディア内に、カメラが記憶しているファイル名より大きな番号がある場合は、スマートメディア内の続きの番号を割り当てます。

＊別のスマートメディアをセットしても、続きのファイル名が付きます。ファイル名が重複することはありません。

＊１枚のスマートメディア内でファイル名が連続しないことがあります。

＊連続No.を初期状態に戻すには、設定初期化（P.108）を行い、画像の入っていないスマートメディアをセットしてください。

●連続 No. が OFF のとき

ファイルには、RIMG0001 ～ RIMG9999 のファイル名が付きます。

新しいスマートメディアをセットすると、RIMG0001から順にファイル名を割り当てます。記録済みのスマートメディアをセットした場合は、スマートメディア内の続きの番号を割り当てます。

＊スマートメディアごとに、RIMG0001から順にファイル名が付きます。

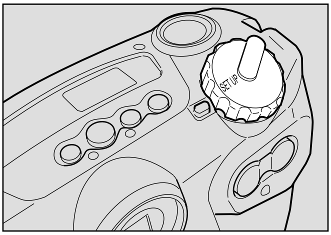
＊ファイル名がRIMG9999になったときは「FILE NUMBER OVER」と表示され、これ以上記録することはできません。→P.8「■警告表示と対処法」

補足
- 記録先がスマートメディアの場合のみ、ファイル名を連番にするかどうか設定できます。内蔵メモリーの場合は、RIMG0001から順にファイル名が付けられます。
- ファイル名を連番（連続No.がONのとき）にしておくと、ファイル名が重複しないため、デジタルプリントサービスでプリントしたり、パソコンでまとめて管理するときに便利です。

❶ モードダイヤルを［SETUP］に合わせます。

SET UP メニューが表示されます。

補足
- 操作を取り消すときは、モードダイヤルを回します。



5
その他

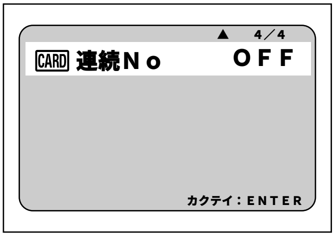
❷ ▼ボタンや▲ボタンを押して［CARD 連続No.］を選びます。



❸ ENTERボタンを押して、［OFF］を選びます。

OFFにすると、撮影したファイルにはRIMG0001から順にファイル名が付けられます。

設定が終了したら、モードダイヤルを回して他のモードに切り替えます。



設定を戻すとき

同様の操作を行い、手順❸の連続No.で［ON］を選びます。

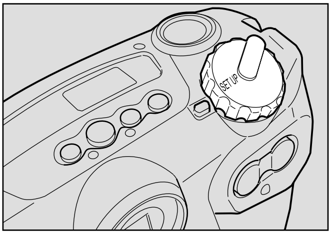
バージョンを確認する

お持ちのカメラの現バージョンを確認することができます。

❶ モードダイヤルを［SETUP］に合わせます。

SET UPメニューが表示されます。

補足 ・操作を取り消すときは、モードダイヤルを回します。



❷ ▼ボタンや▲ボタンを押して［バージョン表示］を選び、ENTERボタンを押します。

バージョン情報が表示されます。



❸ バージョンの確認後、MENUボタンを押します。

SET UPメニューに戻ります。モードダイヤルを回して他のモードに切り替えます。

リモートコントローラーの使い方

リモートコントローラー（DR-3）を使用して記録や再生など、離れたところから操作することができます。

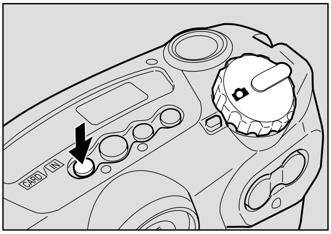
重要
・リモートコントローラーの受信部は、レンズ右側にあります。受信部に向けて、リモートコントローラーを操作してください。

補足
・電池の交換やお手入れ方法などは、リモートコントローラーに付属の説明書をご覧ください。
・リモートコントローラーを操作する場合、一部カメラ本体で行った操作と異なることがあります。リモートコントローラーをお使いになるときは、以降の方法で操作してください。

撮影する

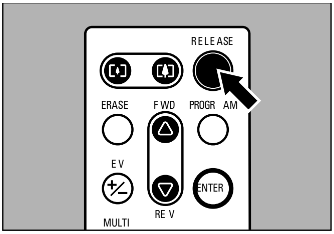
リモートコントローラーを使って撮影します。離れた位置や固定した位置にカメラを設置して使用するときに便利です。

❶ カメラのモードダイヤルを［📷］に合わせ、CARD/IN ボタンを押して記録先を選びます。



❷ 構図を決め、リモートコントローラーのRELEASE ボタンを押します。

カメラの記録モードが静止画モードの場合は、セルフタイマーランプが点灯し、約2秒後に記録を開始します。また、連写モードの場合は、RELEASEボタンを押した後、すぐに記録を開始します。



補足
・ズームボタンで、被写体の大きさを変更できます。［🌲］ボタンを押すと被写体が大きくなり、［🌲］ボタンを押すと小さくなります。

5
その他

露出補正を設定するとき

●設定に入る
リモートコントローラーのEV(+/-)ボタンを押します。

●補正値を設定する
FWD(△)ボタンやREV(▽)ボタンで補正値を変更し、ENTERボタンを押します。RELEASEボタンを押して撮影してください。

●設定を解除する
補正値を±0.0に設定します。

マニュアルフォーカスで撮影するとき

●モードに入る
リモートコントローラーのERASEボタンを押します。

●ピントを合わせる
FWD(△)ボタンやREV(▽)ボタンでピントを調整します。RELEASEボタンを押して撮影してください。

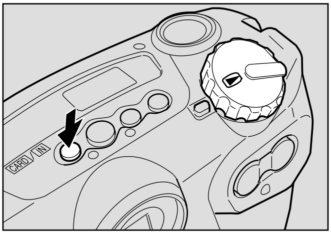
●モードを解除する
再び、ERASEボタンを押します。

再生する

記録したファイルをリモートコントローラーを使って再生します。

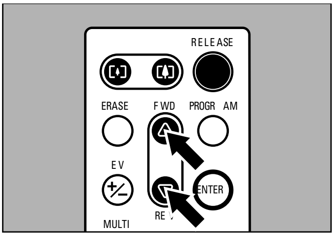
❶ カメラのモードダイヤルを［▶］に合わせ、CARD/INボタンを押して再生元を選びます。

最後に記録したファイルが再生されます。



参照 P.74「再生画面について」

❷ リモートコントローラーのFWD(△)ボタンやREV(▽)ボタンを押して、ファイルを選びます。



補足 ・カメラで操作したときと同じように、リモートコントローラーのボタンで操作できます。

拡大して表示するとき（ズーム再生）

●モードに入る
リモートコントローラーの PROGRAM ボタンを押します。
●再生位置を移動する
FWD(△)ボタンや REV(▽)ボタンを押します。
●モードを解除する
ENTER ボタンを押します。通常の再生画面で表示されます。

画面を分割表示するとき（分割再生）

●モードに入る
リモートコントローラーの MULTI ボタンを押します。
●選択ファイルを移動する
FWD(△)ボタンや REV(▽)ボタンを押します。
●モードを解除する
ENTER ボタンを押します。選択されていたファイルが通常の再生画面で表示されます。

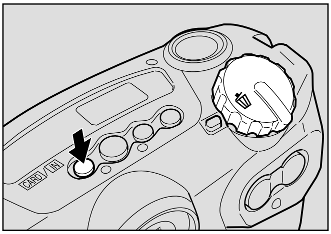
消去する

記録したファイルをリモートコントローラーを使って消去します。

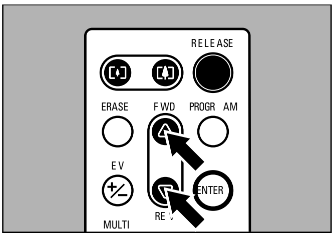
重要
・消去したファイルは復元できません。ファイルの内容を十分に確認してから消去してください。

❶ カメラのモードダイヤルを［🗑］に合わせ、CARD/IN ボタンを押して消去先を選びます。
消去メニューが表示されます。

補足 ・操作を取り消すときは、モードダイヤルを回します。

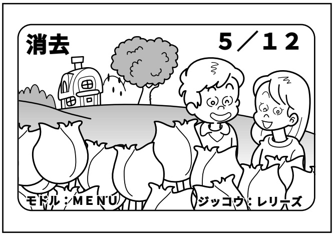


❷ リモートコントローラーの FWD(△)ボタンや REV(▽)ボタンを押して［1コマ消去］を選び、ENTER ボタンを押します。
ここでは、消去メニューで［1コマ消去］を選び、1コマずつ消去する操作を行います。



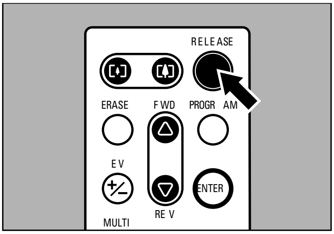
5
その他

❸ リモートコントローラーのFWD(△)ボタンやREV(▽)ボタンを押して、消去するファイルを選びます。



補足 ・操作を取り消すときは、カメラ本体のMENUボタンを押します。消去メニューに戻ります。

❹ リモートコントローラーのRELEASEボタンを押します。



ファイルが消去されます。続けて消去するときは、手順❸・❹を繰り返します。

消去が終了したら、モードダイヤルを回して他のモードに切り替えます。

全ファイルを消去するとき

●全消去メニューに入る
手順❷で［全消去］を選びます。
●ファイルを消去する
RELEASEボタンを押します。
操作を取り消すときは、カメラ本体のMENUボタンを押します。

複数ファイルを消去するとき

●選択消去メニューに入る
手順❷で［選択消去］を選びます。
●ファイルを指定する
FWD(△)ボタンやREV(▽)ボタンを押して消去するファイルを選び、ENTERボタンを押します。
●ファイルを消去する
RELEASEボタンを押します。
操作を取り消すときは、カメラ本体のMENUボタンを押します。

別売り品について

商　品　名	型　名	備　　考
ACアダプター	AC-3	家庭用コンセントから直接電源を供給するときに使います。→P.27「コンセントで使う」
リモートコントローラー	DR-3	遠隔操作による記録・再生が行えます。
パソコン接続キット （Windows/Macintosh用）	PK-7	パソコンとのファイル転送やパソコンでカメラをコントロールすることができます。 <同梱内容> ・Windows/MacintoshソフトウェアCD-ROM ・RDC-5000シリーズ/RDC-200G専用RS232Cケーブル ・Macintosh変換アダプター ・USBケーブル （Windows98プレインストール/MacOS8.5～9対応）
RDC-200G専用 ワイドコンバージョンレンズ	DW-2	RDC-200Gに取り付けて、レンズ倍率を0.735倍にします。
TK-1通信接続キット	TK-1	記録したファイルを一般回線またはISDN回線を利用して送信するためのキットです。 <同梱内容> ・専用接続ケーブル ・通信機能ソフトウェア（スマートメディア）
スマートメディア		薄さ0.76mm、切手とほぼ同じサイズの記録メディアです。
4M	FS-4	画質モードが1800Nモードで、最大約9枚記録できます。
8M	FS-8	画質モードが1800Nモードで、最大約14枚記録できます。
16M	FS-16	画質モードが1800Nモードで、最大約38枚記録できます。
32M	FS-32	画質モードが1800Nモードで、最大約76枚記録できます。
64M	FS-64	画質モードが1800Nモードで、最大約153枚記録できます。
PCカードアダプター	FS-B53	スマートメディアをパソコンのPCカードスロットに直接セットできるカードアダプターです。
フロッピーディスクアダプター	FS-B10	スマートメディアをパソコンのフロッピーディスクドライブに直接セットできるフロッピーディスクアダプターです。

※本機は、パソコン接続キット PK-5 でもお使いになれます。

・Microsoft、MS、Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

・Macintoshは、米国その他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の商標です。

・Smart Media™ は株式会社東芝の商標です。

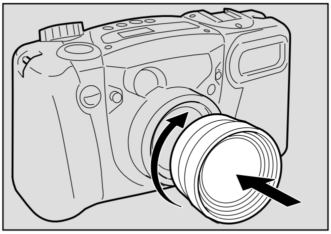
・会社名、および製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

ワイドコンバージョンレンズの使い方

ワイドコンバージョンレンズ（DW-2）を取り付けると、レンズ倍率を0.735倍(35mm換算＝広角側で28mm相当）で撮影できます。

補足
・お手入れの方法や保存方法などは、ワイドコンバージョンレンズに付属の取扱説明書をご覧ください。
・カメラへの取り付け方に関しては、下記を参照してください。

❶ ワイドコンバージョンレンズを、RDC-200Gのレンズの先端に取り付けます。

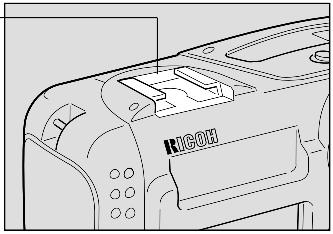


重要
・ワイドコンバージョンレンズは防水仕様ではありません。
・レンズを付けた状態で撮影する場合は、必ず本体の液晶モニターの画像を見ながら撮影してください（ファインダーでは実際に撮影される範囲は異なります)。

アクセサリーシューの使い方

アクセサリーシューに光学ファインダー（市販品）や外部ストロボ（市販品）などを取り付けてご使用になれます。

重要
・アクセサリーシューは、JIS B7101に準拠しています。
・光学ファインダー、外付けストロボなどでバネ機構、もしくはロック機構のない物はご使用になれません。



補足
・シンクロナイザ接点には対応していません。

使用上のご注意

■防水機能について

●本機は水中ではご使用になれません。長時間水中に沈めておくことや、高い水圧での水洗いは避けてください。

●本機はJIS保護等級7（防浸形）に対応していますが、水中防水仕様でないため、水中撮影はできません。本機の水洗い、雨中での撮影は可能です。
雨中撮影や水洗いした後に、レンズ部の鏡筒部と底面の三脚ネジ部から水がしみ出てくる場合がありますが、この部分は2重構造になっているため心配ありません。

●カメラ内部は、防水、防塵構造になっていません。

●万一カメラ内部に浸水したときは、すぐに電池を抜き取り、リコー修理受付センターにご連絡ください。

●特殊環境下で使用される場合は、お客様相談室またはリコー修理受付センターにご相談ください。

■使用上のご注意

●カメラを落としたり、衝撃を与えないよう十分に注意してください。

●本機の開閉を行う場合は、本機についた水滴や汚れが内部に入らないよう注意してください。また、海水や砂が入ることがあるため、浜辺、海上、砂地では本機の開閉はできるだけ避けてください。

●側面カバーや電池ぶたを開閉する場合は、軍手をしたままで操作しないでください。またカメラに付着した水、砂、泥などの汚れを確実に除去し、これらの汚れが入りやすい場所を避けて開閉してください。
カバーを開けたときは、内部に水滴がついていることがあります。きれいに拭き取ってからご使用ください。

●本機は機密性が高いため、気圧が変化すると側面カバーや電池ぶたが開きにくくなることがあります。

●モードダイヤルは防水構造のため、長い時間放置しておくと動作が重くなることがあります。数回動作させると元に戻ります。

●フラッシュを連続して発光させると発光部が熱くなりますので、必要以上に連続してフラッシュを発光させないでください。

●視力障害の原因にもなりますので、目の近くでフラッシュを発光させたり、ファインダーから直接太陽や強い光を見ないでください（特に乳幼児）。

●事故を起こす原因にもなりますので、運転者などに向かってフラッシュを発光しないでください。

●砂浜やホコリの多いところ（工事現場等）では、砂やホコリがカメラにつかないよう十分に注意してください。

●密閉した自動車の中や海辺、浴室など、異常に温度の上がるところや湿度の高いところにカメラを長時間放置しないでください。
● ACアダプター（別売り）は、必ずカメラの電源が切れている状態で接続してください。
●液晶モニターや液晶パネルに太陽の光やライトが当たると、白っぽくなり見えにくくなることがあります。
●液晶モニターや液晶パネルには、一部に常時点灯、あるいは常時点灯しない画素が存在することがあります。また、液晶の特性上、明るさにムラが生じることがありますが、故障ではありません。
●側面カバーや電池ぶたを無理に引っぱらないでください。
●側面カバーや電池ぶたを持ってカメラを持ち上げないでください。
●カメラを持ち運ぶときは、レンズや液晶モニターをぶつけないよう十分に注意してください。
●本機の防水性能は、カバー（側面カバーや電池ぶた）周囲のゴムパッキンで保たれています。ゴムパッキンを取り外したり、これらの部分をぶつけたり、微細なゴミ（砂粒、頭髪など）をはさみこんで傷つけないようにしてください。浸水の原因になります。
●カメラ内部に水滴が入ったときは、すぐに使用をやめてください。次に電源を切り、電池を取り出して各部のカバーを開けたままにしてください。水滴の入ったままで使用なさらずに、お買い上げ店またはリコー修理受付センターにご相談ください。
●寒冷地では、カメラに水滴が付着していると凍結することがあります。凍結したまま使用すると故障の原因になります。水滴が付着したまま放置しないでください。
●温度変化の激しいところでは、カメラ内部で水滴が生じる結露という現象が発生し、ガラス面がくもったり、作動不良などを起こすことがあります。このようなときは、一度カメラをビニール袋かバッグに入れ、できるだけ温度変化をゆるやかにし、温度差が少なくなってから取り出すようにしてください。

結露は次のようなときに発生します

・本機を寒いところから急に暖かいところに移動したとき
・湿気の多いとき
・暖房した直後の部屋や、エアコンなどの冷房が直接あたるとき

■ゴムパッキンの交換について

●防水効果を維持するため、ゴムパッキンは汚れ、異常の有無にかかわらず、２年ごとに交換してください。頻繁に水、砂、ほこりの中で使用する場合は、１年ごとの交換をおすすめします。
ゴムパッキンの交換は、リコー修理受付センターでお引き受けいたします（有料）。

お手入れと保管についてのご注意

■お手入れ

●レンズに指紋や汚れがつくと、画質が悪くなることがありますので、ご注意ください。
●レンズにゴミや汚れがついたときは、直接手を触れず市販のブロアーで吹き飛ばすか、柔らかい布で軽くふき取ってください。
●本機が汚れたときは、側面カバーや電池ぶたが確実に閉まっていることを確認し、バケツなどにためた水道水で洗い、砂や塩分を落として乾いた柔らかい布で水分をふき取ってください。水道の蛇口から出る水を、直接かけて洗わないでください。
●ゴムパッキンが汚れたときは、乾いた柔らかい布でふき取ってください。汚れが落ちないときは、新しいものとの交換を、お買い上げ店またはリコー修理受付センターに依頼してください。
●万一カメラの具合が悪いときは、リコー修理受付センターにご相談ください。このカメラには高電圧回路があります。危険ですから絶対にご自分で分解しないでください。
●シンナー、ベンジンおよび殺虫剤など揮発性の物をかけないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。
●液晶モニターや液晶パネルの表面は、傷つきやすいので、かたい物でこすったりしないでください。
●液晶モニターや液晶パネルの表面は、薄めた中性洗剤を柔らかい布にひたし、かたく絞ってから拭き取り、乾いた柔らかい布で水分を拭き取ってください。
※電池、ACアダプターを取り外して、お手入れしてください。

■保管について

次のような場所での保管は、カメラの故障の原因になりますので避けてください。
●高温多湿、または湿度、温度変化の激しい場所
●砂、ほこり、ちりの多い場所
●振動の激しいところ
●防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品などに長時間接触するところ
●強い磁場の発生するところ（モニター、トランス磁石のそばなど）

故障かなと思う前に

修理にお出しになる前に、もう一度点検してみましょう。それでも正常に動作しないときは、リコー修理受付センターにお問い合わせください。

■電源について

症　　状	原　　因	処　　置	参照ページ
電源が入らない。	電池がセットされていない。または消耗している。	電池を正しくセットする。または新しい電池と交換する。	P.25
	ACアダプターが正しく接続されていない。	正しく接続し直す。	P.27
	カードカバーが開いている。	側面カバー内のカードカバーを閉じてから、電源を再投入する。	P.30
電源が途中で切れる。	何の操作もしないで放置したので、オートパワーオフが働いた。	電源の再投入を行う。	P.39
	電池が消耗している。	新しい電池と交換する。	P.25
電池の消耗が早い。	温度が極端に低いところや高いところで使用している。	—	—
	暗い屋内などの撮影で、フラッシュ発光回数が多い。	—	—

■撮影・再生について

症　　状	原　　因	処　　置	参照ページ
レリーズボタンを押しても撮影できない。	電池がセットされていない。または消耗している。	電池を正しくセットする。または新しい電池と交換する。	P.25
	電源が入っていない。または記録モードになっていない。	電源を入れ、モードダイヤルを［📷］に合わせる。	P.39
	シャッターボタンを押し切っていない（半押し状態）。	シャッターボタンを押し切る。	P.46
	スマートメディアがフォーマットされていない。	スマートメディアをフォーマットする。	P.32
	スマートメディアに空き容量がない。	不要なファイルを削除するか、新しいスマートメディアをセットする。	P.30 P.93
	内蔵メモリーに空き容量がない。	不要なファイルを削除する。	P.93
	スマートメディアの寿命。	新しいスマートメディアをセットする。	P.30
	カードカバーが開いている。	側面カバー内のカードカバーを閉じる。	P.30
	セルフタイマー撮影になっている。	セルフタイマーボタンを押して、セルフタイマー撮影を解除する。	P.59
	フラッシュが充電中。	フラッシュランプの点滅が終了するまで待つ。	P.47
	スマートメディアの接触面が汚れている。	乾いた柔らかい布などで汚れを拭き取る。	P.29
撮影画像を確認できない。	画像確認時間が短い。	画像確認時間を長くする。	P.106
液晶モニターに映らない。	液晶モニターの画面表示がOFFになっている。	DISPLAYボタンを押して切り替える。またはLCD初期設定をONにする。	P.39 P.107
	ビデオ入出力スイッチがINになっている。	ビデオ入出力スイッチをOUTにする。	P.75
	ビデオ方式がPAL設定で、ビデオケーブルをさした状態になっている。	ビデオ方式をNTSCに設定するか、ビデオケーブルを抜く。	P.105
オートフォーカスなのにピントが合わない。	レンズが汚れている。	レンズをきれいにする。	—
	被写体が撮影範囲枠の中央にない。	フォーカスロックで撮影する。	P.60
	ピントの合いにくい被写体である。	フォーカスロック、またはMFなどで撮影する。	P.60 P.61

症　　状	原　　因	処　　置	参照ページ
フラッシュが発光しない。またはフラッシュの充電ができない。	文字モードになっている。	記録メニューで、記録モードを速写モードまたは静止画モードに切り替える。	P.42
	フラッシュが発光禁止モードになっている。	フラッシュボタンを押して、発光禁止モードを解除する。	P.53
	ホワイトバランスモードがオートモード以外になっている。	記録メニューで、ホワイトバランスをオートモードに切り替える。	P.57
	電池が消耗している。	新しい電池と交換する。	P.25
フラッシュが発光したのに画像が暗い。	被写体までの距離が望遠時に約3.0m以上、広角時に約3.4m以上離れている。	被写体に近づいて撮影する。	P.52
画像が明るすぎる。	被写体までの距離が近すぎる。	フラッシュの発光を禁止する。	P.53
	露出がオーバーしている。	記録メニューで露出補正を行う。	P.55
画像が暗すぎる。	暗いところを発光禁止モードで撮影している。	フラッシュボタンを押して、発光禁止モードを解除する。	P.53
	露出が不足している。	記録メニューで露出補正を行う。	P.55
画像が自然な色合いにならない。	オートホワイトバランスの調整しにくい状況で撮影した。	被写体に白色系のものを入れて撮影する。またはフラッシュ撮影やオートモード以外のホワイトバランスを使用する。	P.53 P.57
日付などの記録情報が表示されない。	画面表示の機能で、表示なしになっている。	ENTERボタンを押して表示を切り替える。	P.50
再生できない。または再生画面が出ない。	再生モードになっていない。	モードダイヤルを［▶］に合わせる。	P.78
	再生元が違う。	CARD/INボタンを押して、再生元を切り替える。	P.78
	スマートメディアがセットされていない。または画像が記録されていないスマートメディアをセットした。	記録済みのスマートメディアをセットする。	P.30
	本機でフォーマットしていないスマートメディアを再生した。	本機でフォーマットし、記録したスマートメディアをセットする。	P.30
	正常に記録されていないスマートメディアを再生した。	正常に記録されているスマートメディアをセットする。	P.30
	本機で再生できない形式のファイルが記録されている。	ファイル形式を確認する。	P.74
	カードカバーが開いている。	側面カバー内のカードカバーを閉じる。	P.30
	ビデオ接続ケーブルが正しく接続されていない。	正しく接続する。	P.75
	モーターなどの雑音源が近くにある。	雑音を発生させている機器から離す。	—
	スマートメディアの接触面が汚れている。	乾いた柔らかい布などで汚れを拭き取る。	P.29
	ビデオ入出力スイッチがINになっている。	ビデオ入出力スイッチをOUTにする。	P.75
きれいに再生できない。	カメラ本体の内蔵メモリーに異常がある。	内蔵メモリー内の必要なファイルをスマートメディアにコピーしてから、内蔵メモリーをフォーマットします。	P.83 P.103
	使用中のスマートメディアに異常がある。	記録済みの別のスマートメディアを再生して異常がなければカメラは正常です。スマートメディアに異常が考えられますので、そのカードを使用しないでください。	—
画面が消えた。	電池が消耗している。	新しい電池と交換する。	P.25
	オートパワーオフが働いた。	再び電源を入れる。	P.39

症　　状	原　　因	処　　置	参照ページ
リモコン（別売り）が働かない。	カメラのリモコン受信部とリモコンの送信部の間に障害物がある。	障害物を取り除く。 ＊リモコン受信部は、レンズの右側にあります。	—
	リモコン受信部または送信部が汚れている。	きれいにする。	—
	リモコンのリチウム電池が消耗している。	新しいリチウム電池（CR2032）に交換する。	—
AF動作中、モニターの明るさが変化する。	オートフォーカス範囲と周囲の明るさが異なるとき、または暗い所。	故障ではありません。	—
縦に尾を引いた画像になる。	明るい被写体を写したときに起こる現象。スミア現象という。	故障ではありません。	—

■その他

症　　状	原　　因	処　　置	参照ページ
スマートメディアが入らない。	指定以外のスマートメディアをセットしようとしている。	指定のスマートメディアをセットする。	P.30
	スマートメディアの挿入方向が違う。	正しくセットする。	P.30
カメラのボタンやスイッチを操作しても作動しない。	電池が消耗している。	新しい電池と交換する。	P.25
	カメラの誤作動。	一度電源を切り、再度電源を入れてください。モードダイヤルを［ 📷 ］、または［ ▶ ］にします。それでも作動しない場合、次の操作を行いリセットします。 1.カメラ本体の電池を一度取り外し、電源スイッチをスライドしてから再度セットする。 2.再び操作する。	—
日付が正しくない。	正しい日付・時刻がセットされていない。	正しい日付・時刻をセットする。	P.34
セットした日付が消えてしまった。	電池を抜いてしまった。	電池を取り外して約３分経過すると、日付がリセットされます。再度、設定してください。	P.34
ファイルを消去できない。または、スマートメディアのフォーマットができない。	消去モードになっていない。	モードダイヤルを［ 🗑 ］に合わせる。	P.93
	スマートメディアにライトプロテクトシールが貼られている。	ライトプロテクトシールをはがす。	P.29
	プロテクトまたはシークレットが設定されている。	再生メニューで、プロテクトまたはシークレットの設定を解除する。	P.82 P.89
	電源を切った。またはオートパワーオフが働いた。	もう一度モードを設定する。	P.101
設定してあるモードが変わってしまった。	電池を抜いてしまった。	もう一度モードを設定する。	P.100
オートパワーオフが働かない。	オートパワーオフが働かないように設定した。	設定を解除する。	P.101
	ACアダプターを使用している（ACアダプター使用時は、オートパワーオフは働きません）。	—	—
ブザー音が鳴らない。	消音が設定されている。	SET UPメニューで、ブザー音の設定をONにする。	P.100
テレビに映らない。	ビデオ入出力スイッチがINになっている。	ビデオ入出力スイッチをOUTにする。	P.75
	テレビ方式の設定が間違っている。	正しいテレビ方式を設定する。	P.105
	出力先のビデオ入出力スイッチの設定が間違っている。	出力先のビデオ入出力スイッチが正しいか確認する。	—

海外旅行にお持ちになる方へ

別売りのACアダプター（型名：AC-3）について

・交流100V、50Hz/60Hzの地域でご使用になれます。
・電源コンセントの形状が異なる国では、使用先の国の電源コンセントにあった変換アダプターをあらかじめ旅行代理店でおたずねのうえ、ご用意ください。

保証書について

・このデジタルカメラは国内仕様です。付属している保証書は、国内のみ有効です。
・外国で万一、故障、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

再生等で現地のテレビを使用する場合

・映像入力端子付きのテレビ（またはモニター）で再生することができます。付属のビデオ接続ケーブルをご使用ください。
・本機では、テレビ方式はNTSCとPALに対応しています。現地のテレビ環境にあわせて、カメラのビデオ方式を切り替えてご使用ください。→P.105「ビデオ方式を変更する」
・海外へお出かけの際は、テレビ方式をご確認の上、ご使用ください。

アフターサービスについて

1．本製品が万一故障した場合は、ご購入日から満１年間無料修理いたしますので、お買い上げの販売店かリコー修理受付センターにお申し出ください。なお、リコー修理受付センターにご持参いただくに際しての諸費用はお客様にご負担願います。
2．つぎの場合は上記保証期間内でも無料修理の対象にはなりません。
①使用説明書に記載されている使用方法と異なる使用による故障。
②使用説明書に記載されている当社指定の修理取り扱い所以外で行われた修理、改造、分解掃除等による故障。
③火災、天災、地変等による故障。
④保管上の不備（高温多湿や防虫剤の入った場所での保管、電池等の液漏等、カビ発生等）による故障。
⑤浸（冠）水、飲物（ジュース、酒類等）かぶり、砂（泥）入り、ショック、落下等による故障。
3．ご購入日から満１年間経過した後は、本製品に関する修理は有償修理とさせていただきます。なお、その際の運賃諸掛りにつきましては、お客様のご負担とさせていただきます。
4．保証書の添付のない場合や、販売店名、ご購入年月日の記入がない場合ならびに記載事項を訂正された場合には、保証期間内でも有償修理とさせていただきます。
5．保証期間内であっても、本製品について各部点検、精密検査等を特別に依頼された場合には、別途実費をお客様にご負担いただきます。
6．保証の対象となる部分は本体のみでケース、ストラップ等の付属品類および本製品に付帯している消耗品類（電池類）は保証の対象となりません。
7．無償修理期間中であると否とにかかわらず、本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および得べかりし利益の損失）等については補償いたしかねます。
8．保証書は日本国内においてのみ有効です。
＊以上の保証規定は無料修理をお約束するもので、これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
＊以上の保証規定は本製品に関する保証書にも　同様の趣旨で記載されています。
9．本製品の補修用性能部品（機能、性能を維持するために不可欠な部品）は、７年を目安に保有しております。なお、期間後であっても修理可能の場合もありますので、お買い上げの販売店かリコー修理受付センターにお問い合せください。
10．浸（冠）水、砂（泥）入り、強度の衝撃、落下等で損傷がひどく、故障前の性能に復元できないと思われるもの等は修理できない場合もあります。ご了承ください。

補足

- 修理にお出しになる前に、電池の消耗のチェックと使用説明書の再読（ご使用方法の再確認）をお願いいたします。
- 修理箇所によっては修理に日数がかかる場合もございますので、修理には余裕を持ってお出しください。
- 修理にお出しになる際は、故障内容と故障箇所をできるだけ詳しくお申し出ください。
- 修理にお出しになる際は、修理に直接関係のない付属品類は添付しないでください。
- 大事な記録（結婚式や海外旅行等）を撮影されるときには、前もってテスト撮影をしてカメラの調子をご確認くださるとともに、使用説明書や予備の電池の携帯等をお勧めいたします。

主な仕様

■総合	
●ビデオ信号方式	：NTSC 方式、PAL 方式
●電源電圧	：BATT 6V
	：外部 5V
●外形寸法	：149.0mm（幅）× 81.2mm（高さ）× 66.5mm（奥行き）（突起部含まず）
●質量	：本体 約 500g（バッテリー別）
●防水	：JIS 保護等級 7（防浸形）
●使用温度範囲	：0˚ C ～40˚ C
●使用湿度範囲	：85%以下
●保存温度範囲	：-20˚ C ～ 60˚ C
■カメラ部	
●使用撮像素子	：231 万画素（有効 216 万画素）
●レンズ	：ズームレンズ　F:3.2 ～ F:3.7
・焦点距離	：f:8 ～ 24mm（35mm 換算 38 ～ 114mm）
・最短撮影距離	：約 4.0cm（広角時）
●ファインダー	
・タイプ	：実像式
・倍率	：望遠 0.35、標準 0.57、広角 1.00
・視度補正	：なし
・視度	：-1dpt
●モニター表示部	
・画面サイズ	：1.8 型
・駆動方式	：TFT アクティブマトリックス方式
・画素数	：約 11 万画素
●ホワイトバランス	：オート／固定（屋外、曇天、白熱灯、蛍光灯）
●露出調節	
・測光感度分布	：中央重点
・露出記憶機構	：自動逆光補正あり
	：マニュアル露出補正 ± 2.0EV（0.5EV ステップ）
・測光方式	：TTL CCD 測光式
・フラッシュＡＥ	：あり（日中シンクロ　あり）
・シャッター	：1 ～ 1/500
・最小絞り	：F15.0 ～ F17.2
・ISO 感度	：ISO　約 100 相当
●距離調節	
・AF 方式	：TTL・CCDAF 方式
・AF 測距範囲	：約 4.0cm（広角）～∞
●内蔵フラッシュ	
・方式	：オート
・撮影距離	：約 0.4m ～ 3.0m（望遠）
	：約 0.4m ～ 3.4m（広角）
・動作モード	：OFF/ON（強制発光、スローシンクロ）/AUTO/ 赤目

■画像データ録再部

●画素数	：1792 × 1200、1280 × 960、896 × 600、640 × 480
●ファイルフォーマット	：JPEG（Exif2.1）
●カメラファイルシステム規格	：DCF ※DCFはJEIDAで標準化された『(Desigin rule for Camera File system)』規格の略称です。
●圧縮方式	：JPEGベースライン方式準拠
●画像サイズ（圧縮率）	
・1792 × 1200	：F;約813KB、N;約410KB、E;約246KB
・896 × 600	：F;約276KB、N;約141KB、E;約74KB
・640 × 480	：F;約157KB、N;約82KB、E;約45KB
・1280 × 960	：約330KB

■入出力端子

●電源入力	：5V（ACアダプター）
●ビデオ出力 / 入力	：1.0 Vp-p （75 Ω）
● RS-232C/AUX/USB	：専用

■ボディー

●三脚ネジ	：あり （1/4-20UNC）
	：長さ 5.7mm以下

■電源

●本体バッテリー	
・電池種類	：単３形ニッケル水素充電池
	：単３形ニッケルカドミウム充電池
	：単３形アルカリ乾電池
	：単３形リチウム電池
・電圧	：6V（1.5V × 4本：電池）

■デート保持時間	：約３分
■オートパワーオフ	：OFF/ 約1、3、5分以上未使用時

■内蔵メモリー

・容量	：８ MB

■記録再生可能なメモリカードの種類

●メモリ種類	：スマートメディア
・容量	：2MB、4MB、8MB、16MB、32MB、64MB
・動作電圧	：3.3V

記録枚数について

スマートメディアの容量別、画質モード別の記録可能枚数の目安は、次のとおりです。

種類	画像サイズ	画質モード	記録可能枚数
2MB	1800×1200	F	約　2枚
		N	約　3枚
		E	約　7枚
	900×600	F	約　7枚
		N	約 14枚
		E	約 26枚
	640×480	F	約 12枚
		N	約 23枚
		E	約 41枚
	1280×960		約　6枚
4MB	1800×1200	F	約　4枚
		N	約　7枚
		E	約 15枚
	900×600	F	約 14枚
		N	約 27枚
		E	約 49枚
	640×480	F	約 24枚
		N	約 45枚
		E	約 82枚
	1280×960		約 12枚
8MB	1800×1200	F	約　9枚
		N	約 14枚
		E	約 32枚
	900×600	F	約 29枚
		N	約 55枚
		E	約 99枚
	640×480	F	約 49枚
		N	約 90枚
		E	約 165枚
	1280×960		約 24枚

種類	画像サイズ	画質モード	記録可能枚数
16MB	1800×1200	F	約 19枚
		N	約 28枚
		E	約 62枚
	900×600	F	約 58枚
		N	約 110枚
		E	約 199枚
	640×480	F	約 99枚
		N	約 166枚
		E	約 332枚
	1280×960		約 47枚
32MB	1800×1200	F	約 39枚
		N	約 57枚
		E	約 124枚
	900×600	F	約 117枚
		N	約 221枚
		E	約 399枚
	640×480	F	約 199枚
		N	約 332枚
		E	約 665枚
	1280×960		約 95枚
64MB	1800×1200	F	約 79枚
		N	約 114枚
		E	約 249枚
	900×600	F	約 235枚
		N	約 443枚
		E	約 799枚
	640×480	F	約 399枚
		N	約 665枚
		E	約1331枚
	1280×960		約 190枚

補足
・640 × 480 は、デジタルズーム時の画像サイズです。
・内蔵メモリーは 8 MB のスマートメディアと同じです。

リコー修理受付センター

リコー修理受付センター

0120 FreeDial **0120-053956**

●受付時間：月曜日～金曜日　9：00～17：00
（土、日、祝日を除く）
●取扱商品：リコーデジタルカメラ（全機種）

万一、本製品がご使用中に故障した場合は、下記のサービスメニューからお客様がご希望のサービス方法をお選びいただき、記載されている修理受付センターまでお申し込みください。

＊本製品の保証書に記載された保障期間内は、無料修理となりますが、保証書裏面の保障規定第２項の記載に該当する場合は、保障の対象にはなりません。
＊各サービスメニューの対象は、製品本体のみとさせていただきます。
＊本サービスは、日本国内のみ有効です。

（1）たくはいサービス －着払い宅配便にてお送りいただくサービスです。
リコー修理受付センターにお電話でお申し込みいただきますと、その日の内に梱包材料および送り先を印刷した着払い伝票をお送りします。

（2）ひきとりサービス －訪問、お預かりサービスです。
リコー修理受付センターにお電話でお申し込みいただきますと、運送業者がお客様のご自宅（事務所）に訪問し、本製品を梱包してお預かりします。

（3）こうかんサービス －同一機種との訪問、交換サービスです。
本サービスは、本製品を連続してご使用になっていて、修理のためにお預かりできないお客様に最適です。リコー修理受付センターにお電話でお申し込みいただきますと、お使いの機種と同じ機種を運送業者が持参し、交換します。
＊本サービスは、保証書記載の保障期間終了後に有効になります。

（4）もちこみサービス －サービスステーションへご持参していただくサービスです。
お買い上げの販売店、または製品に同梱されている『リコー製品サービス相談窓口』に記載されている最寄りのサービスステーションにお持ちいただいた場合でも修理を受付いたします。修理期間、料金は、お持ちいただいた際にお尋ねください。

時間帯指定サービス

(1) ～ (3) までの各サービスで、修理完成品の配達日の時間帯指定ができます。時間帯は10：00～20：00までの間で、時間帯区切りは2時間です。

①10：00～12：00　②12：00～14：00　③14：00～16：00
④16：00～18：00　⑤18：00～20：00

＊リコー修理受付センターへご連絡の際、お申し込みください。

リコーお客様相談室

電話番号をかけ間違えないようにご注意ください。

お客様相談室

弊社製品に関する要望、その他お困りの点がございましたら、「お客様相談室」にご連絡ください。

FreeDial **0120-000475**
FAX 0120-479417

●この電話は東京都港区のリコー本社でお受けいたします。
●受付時間：９～17時（土、日、祝日を除く）

インターネット／パソコン通信でもデジタルカメラの情報提供やご質問をお受けしています。

■インターネット
http://www.ricoh.co.jp/dc/index.html

■ @nifty ／リコーファンフォーラム
GO FRICOH

■札幌支店	札幌市北区北七条西4丁目12番地（ニッセイMKビル）〒060-0807	☎ 011（700）5551
■仙台支店	仙台市宮城野区榴岡3-7-35（安田火災仙台ビル）〒983-0852	☎ 022（292）2025
■関東支店	大宮市仲町2-60（仲町川鍋ビル）〒330-0845	☎ 048（645）1011
■東京支店	東京都中央区銀座6-14-6（リコー三愛ビル）〒104-8155	☎ 03（3543）5111
■名古屋支店	名古屋市中区丸の内2-20-19（名古屋東京海上ビル）〒460-0002	☎ 052（201）8211
■大阪支店	吹田市江の木町34-5（リコービル）〒564-0053	☎ 06（6337）1161
■広島支店	広島市中区東平塚町4-21（リコー三愛ビル）〒730-0025	☎ 082（243）2101
■福岡支店	福岡市博多区博多駅東2-1-1（福岡リコー近鉄ビル）〒812-0013	☎ 092（441）8731
■ＭＡ事業部	東京都中央区銀座6-14-6（リコー三愛ビル）〒104-8155	☎ 03（3543）5111

株式会社リコー
東京都港区南青山1-15-5 リコービル 〒107-8544
Tel:(03)3479-3111(代表)

2000年7月　L2141543B